



[2023年7月 月間予定表 —柳辻北校—]



7月の予定		
1	土	「高校入試報告会」(非受験学年対象)
2	日	
3	月	
4	火	
5	水	
6	木	休校日
7	金	
8	土	
9	日	
10	月	
11	火	
12	水	●「定着度確認テスト」実施期間 (小4～中2対象)
13	木	休校日
14	金	
15	土	休校日
16	日	
17	月	
18	火	
19	水	
20	木	『夏期講習』開始
21	金	
22	土	
23	日	休校日
24	月	
25	火	
26	水	
27	木	休校日
28	金	
29	土	
30	日	
31	月	休校日

※諸事情により予定を一部変更する場合があります。

7月行事について

●夏期講習

長い夏休みをいかに計画的に過ごすかで今後の学習成果は大きく左右されます。

【日本人の文化】

保護者の皆様、いつもお世話になっております。

先日、私、バースデーを向かえまして、49才になりました。

いや～私もよいよ、オヤジ狩りにあってもおかしくない歳になりました(笑)

でも、誕生日っていくつになんでも嬉しいものです。

マイクアップアーティストの藤原美智子さんは、「Happy Birthday」と書かれたカードを額縁に入れて、よく目がいく場所に飾っているそうです。

それは、「毎日が誕生日のように、新しい朝を迎えたから」だそう。

日々、「今日が始まり」と思えば、それだけでハッピーになれるのです。

「40才より前は勝つように、40才からは負けぬように」

軍略の天才、武田信玄のことばです。

私の場合は、守りに入らず、一生涯、攻めに徹して生き抜きたいと思っています。

さて、40年……ではなく、400年のおはなし。

「長谷川等伯」没後400年 特別展覧会。

東京国立博物館で400人以上の長蛇の列。

普通ラーメン屋へ行って400人待ちだったら帰りますよね(笑)

ブーブーいいますよね。

ところがです。誰も文句やグチを言わないんです。

みんなが、心がとても穏やかで、楽しみに待っているという感じです。

まず、この列の人たちの穏やかな心に感動し、来てよかったですと思らうらしいです。

まだ美術館の中にさえ入っていないのに感動する展覧会って初めてです(笑)

そんなやさしい行列なんですね。

豊臣秀吉・千利休を魅了した400年前のスーパー絵師、長谷川等伯。

東京展はわずか25日間で約29万人の入場者数を記録したそうです。

400年前に描かれた作品。それを見たいと29万人が訪れる。

作品を作ることの可能性をこの行列に教えてもらった気がします。

長谷川等伯の作品は、400年後の未来の人の喜びまでをも内包していたわけです。

これぞ日本の侘び寂び(わびさび)の世界です。

西洋の絵画というのは、背景に必ず色が塗られています。

ゴッホしかり、モネしかり。

一方、水墨画など、日本の絵は

背景には何も塗られていなくて白いまま(紙のまま)のことが多い。

その余白が「侘び(わび)」なんだそうです。

例えば俳句。

五七五の17文字で、言葉少なく語ることで空白を作った。

空白を作ることで、そこに描かれていらない、語られていない何かが生まれる。

それが「侘び(わび)」。

そして、それを受け取った人は、その空白に思いを馳せます。

それが「寂び(さび)」なんだそうです。

400人を超える行列が、なんでやさしいのか…。

それは、長谷川等伯の空白が、とてもやさしかったから。

待ち時間、作品と出会うまでの時間も、侘びとして楽しむ。

空白で語りあえる日本人。

長谷川等伯の侘びを感じながらネットで作品を見ていました。

そういうえば、昔、美術館に行ったときのこと。

作品を見て歩いていると、途中でひとつ、私の心を強くひきつける作品があったんです。

「あ、これが一番好き」

友達にそう伝えると、

なんと、それは国宝に指定されている作品なのだと。

80点ちかい作品の中で、

何も知らない私が、

「これが一番好き」と言った作品が偶然、国宝。

「なんか感じたの?」

「うん。やっぱ国宝は違ったよね」

で、隣の作品に移動すると友達が一言。

「あ、間違った。国宝こっちだった」

お—————い!

塾長 山田 大介

【5月度のMVP】

●中3 T.Y.さん

●中3 S.S.くん

第1回定期テストの点数を評価しました！

●小6 M.Y.さん

●小6 M.S.さん

5月算数テストにて、全校舎ランキングで
ベスト5入り！